今後進めていく取組

京都市全体の基本方針**「はばたけ未来へ！京プラン」**
「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略等の
理念や施策を踏まえ，南部創造のまちづくりの理念に基づき，
これからも南部地域のまちづくりを推進していきます。

京都駅東南部　京都駅東南部エリアのまちづくり

平成29年3月に策定した「京都駅東南部エリア活性化方針」に基づき，地域住民や地域団体をはじめ，NPO，企業，芸術家などとの協働による，「文化芸術」と「若者」を基軸とした活性化に取り組みます。

西大路　西大路駅周辺のバリアフリー化

高齢者や障害のある方をはじめ，すべての人にやさしいまちづくりを実現するため，JR西大路駅とその周辺地域の「バリアフリー化移動等円滑化基本構想」を策定し，駅やその周辺の道路等のバリアフリー化に取り組みます。

向島　向島ニュータウンのまちづくり

平成29年3月に策定された「向島ニュータウンまちづくりビジョン」に基づき，住民の皆様や地域で活動している団体，事業者，行政等がそれぞれ主体となり，連携を図りながら，向島ニュータウンや周辺地域の活性化に取り組みます。

横大路　南部クリーンセンター第二工場（仮称）の建替え

ごみの持つエネルギーを最大限回収する高効率ごみ発電やバイオガス化施設などとともに，世界最先端の環境技術などが楽しく学べる環境学習施設を併設したクリーンセンターとして建替え整備に取り組みます。

京都市 都市計画局 まち再生・創造推進室
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488
TEL：075-222-3503　FAX：075-222-3478
http://www.city.kyoto.lg.jp/menu4/category/56-2-1-0-0-0-0-0-0-0.html

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

平成29年3月発行　京都市印刷物第 283254 号

南部創造のまちづくり案内

京都市
CITY OF KYOTO

南部創造のまちづくりとは？

京都市の南部地域は桂川，鴨川及び宇治川が合流する豊かな自然環境と特色ある文化や歴史に恵まれた地域であることに加えて，「ものづくり都市・京都」ならではの優れた技術を有する企業が数多く集積しています。

南部地域の潜在力をさらに引き出して京都の発展につなげるために，南部創造のまちづくりを推進しています。

※南部創造のまちづくり対象エリアは，「南区と伏見区（醍醐地域を除く）」です。

南部地域の特長とは？

特長①　都　市

けいはんな学研都市，桂イノベーションパークや京都リサーチパークなどの産学公連携拠点に近接しています。

特長②　交　通

関西国際空港や名古屋への高速道路のアクセスの良さなど，広域交通の利便性において市中心部とは異なる魅力があります。

特長③　文　化

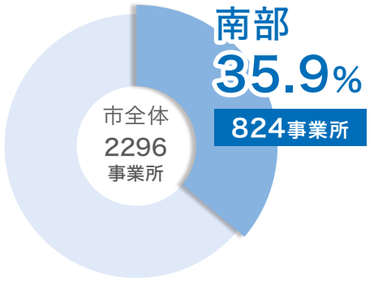
世界遺産の東寺，良質な地下水を生かして酒造産業が発達した伏見地域などの文化・歴史資源があります。

特長④　産　業

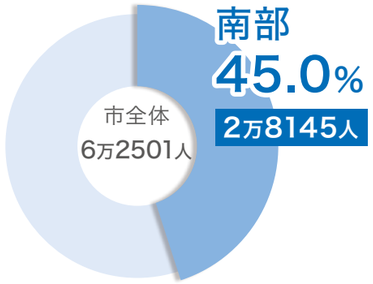
市内の製造品出荷額の約5割を占める市内有数のものづくり地域です。

京都市の**約7%**の地域（南部地域 59.55km²/ 京都市 827.8km²）に，多くのものづくり企業が集積しています。

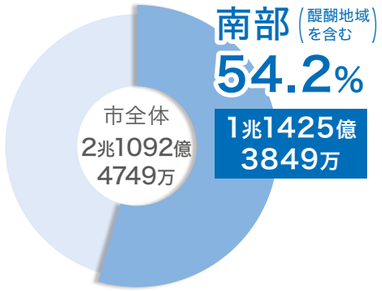
データで見る南部地域



工業事業所数



工業事業所従業員数



製造品出荷額等

※平成27年工業統計調査に基づくデータです。いずれも従業員4人以上の事業所を集計しています。

～京都の活力を産み出す南部創造のまちづくり！！～

南部創造のまちづくりの意義及び理念

意　義

都心部の再生の取組

歴史的景観の保全・再生
伝統文化の継承・発展

南部創造のまちづくり

産業文化の創造・展開
北部や都心部と異なる魅力の向上

京都の都市力の向上

理　念

グローバルな活動の展開と他地域をリードする情報の積極的発信
～社会経済構造の変化に伴う社会的な要請に応えるために～

- 多様な企業活動が促進される環境の整備
- 研究開発機能，情報処理機能及び本社機能など，創造的な雇用の場・起業の場の提供
- 創意工夫ある先導的取組の成果を発信・交流

環境に配慮したアメニティの高い先進的なまちづくり
～南部地域の水と緑の豊かな自然も生かしつつ～

- 脱温暖化・循環型社会の構築
- 自然と共生できる環境の創生
- 住みやすくかつ働きやすいまちづくり

南部創造のまちづくりの目標

魅力ある都市環境が整い，新たな可能性に満ち溢れ，創造を続けるまち

3つの柱に基づき取組を推進！！

柱1　創造的な活動を支える都市環境の形成

事業活動や日常生活の利便性を高めるため，幹線道路網や公共交通網を充実させます。

- 京都高速道路　●第二外環状道路
- 新十条通の無料化（平成31年4月）
- 京都駅八条口駅前広場整備
- 駅周辺バリアフリー化
- 淀駅周辺整備　●市バスダイヤの充実
- 京都らくなんエクスプレスR´EX

柱2　更なる都市機能の集積

企業立地の推進と企業活動の支援，歴史や文化発信力の強化などにより，南部地域の特性を生かした地域経済の活性化を図ります。

- 企業誘致の推進
- らくなん進都の取組
- 新産業創出の拠点施設の整備
- 文化発信力の強化

柱3　戦略的拠点の形成と地域課題に対応するまちづくりの推進

南部創造のまちづくりの先導地区「らくなん進都」など戦略的にまちづくりを進める地域と連携し，各地域の課題に対応したまちづくりを進めます。

- らくなん進都　●京都駅南口　●京都駅東南部　●西大路　●桂川
- 深草　●久我・久我の杜・羽束師　●伏見　●横大路　●淀　●水垂　●向島

南部創造のまちづくりの進捗状況

深草駅，JR藤森駅，桃山駅，西大路駅ほか

交通バリアフリー化推進事業

現在実施中のバリアフリー全体構想（平成23年策定）に基づき整備を行っています。（地図内の◎）

京都駅～伏見稲荷，竹田駅，伏見桃山・中書島

市バスダイヤの充実

平成28年3月
急行新設

市南部地域の利便性向上を図るため，平成28年3月から，観光に便利にご利用いただけるよう，京都駅と伏見稲荷大社，竹田駅（一部便は伏見桃山・中書島エリアへ直通運行）とを結ぶ急行105号系統を新設するとともに，久我・久我の杜・羽束師地域では，地域の皆様による公共交通利用促進の取組を受け，ご利用が増加している南2号系統の増便を行いました。

新しい国造りの転換期の舞台

鳥羽離宮跡公園と鳥羽伏見戦跡石碑

鳥羽離宮跡公園

平安時代後期に白河天皇が創建した鳥羽離宮の跡地です。2018年に150周年を迎える，鳥羽伏見の戦い（慶応四年（1868），幕府軍と新政府軍が衝突し，戊辰戦争の端緒となった戦い）の舞台にもなり，近くには石碑もあります。南部地域には鳥羽離宮跡公園をはじめとして，明治維新にゆかりが深いスポットも各地に残ります。

桂川周辺のまちづくり

工場跡地に大型商業施設が開業したのと同時に，道路拡幅やJR桂川駅が設置されるなど土地利用が大きく変化し，交通アクセスに優れた生活利便性の良いまちづくりを進めてきました。

京都駅南口

京都駅八条口駅前広場

平成28年12月
完成

屋根付きの広場「みやこ夢てらす」

歩行者や自転車をはじめ，バス・タクシーの利用者，一般車の利用を配慮し，「使いやすく，人にやさしい」をコンセプトに，公共交通の乗継利便性向上などを整備のポイントとして，平成28年12月にグランドオープンしました。

更なる都市機能の集積

企業誘致の推進

企業立地促進制度による支援

市外からの移転や市内での事業拡張等において，本社，工場，開発拠点等を新増設される場合に，補助金制度等によりバックアップ。

らくなん進都の取組

らくなん進都は，新しい京都の活力を支える南部地域の先導地区として位置づけ，企業集積の推進をはじめ地区の魅力を高める取組を進めています（詳細はP7参照）。

新産業創出の拠点施設の整備

京都市成長産業創造センター（ACT KYOTO）

平成25年11月
開所

最先端の大学の技術シーズを事業化につなげ，その成果を地元の中小企業に橋渡しするとともに，大学や企業等の交流の場を提供する産学公連携拠点。

文化発信力の強化

伏見地域では，伏水がつなぐ酒蔵のあるまちづくり提言など，文化や歴史等の地域資源を活用したまちづくりを推進（詳細はP7参照）。

地域の個性を生かしたまちづくりの推進

南部創造のまちづくりの先導地区と位置付ける，らくなん進都をはじめとして，地域の個性を生かしたまちづくりを進めています。

西大路　西大路駅周辺を美しくする会

まちの「きれい」を保つ，毎週水曜の1時間

「ゴミ拾いを始めた頃は，いくつもゴミ袋が必要でしたが，最近ではずいぶん減りました。きれいにしているとポイ捨てしにくくなるんでしょうね」と語るのは，「西大路駅周辺を美しくする会」の事務局長・森岡隆司さん。毎週水曜の朝9時半から1時間，地元住民の主要メンバー13名が中心となって清掃活動に取り組んでいます。

西大路地域では，平成9年に行政からの呼びかけで，地元自治会とJR西大路駅周辺に拠点を置く企業6社で同会を設立。約1400台にも及ぶ放置自転車の対策を契機に，三者のパートナーシップが始まりました。企業からの用地提供を受けて駅南口に大型駐輪場が整備された今では，歩きやすく快適な町になっています。

週に1度の清掃活動では，交通違反者講習の受講者をボランティアとして受け入れており，これまで約1万人もの方が参加してきました。「町に直接関係のない方もまちづくりに関わってもらってるんです。行政担当者に毎週会えるのもいいですね。日頃の考えを伝える意見交換の場にもなっています」と人とのつながりも大切にしています。課題はメンバーの世代交代。全住民参加型の町一斉清掃や「YouYouパーク 花いっぱい運動」などを通して，周知を図る取組も展開中です。

事務局長
森岡隆司さん

横大路　横大路まちづくり協議会

イベントが高める，地域愛とまちづくりの機運

かつて平安の昔から水運の要所として栄えた草津湊（くさつみなと）を有し，鴨川と桂川の合流点付近に位置する横大路地域。ここではその歴史的な価値を地元住民に伝え，地域愛を高めることを目的に「草津みなと鱧（はも）海道祭り」を3年に1度実施しています。主催しているのは，水と緑を生かしたまちづくりを目指す「横大路まちづくり協議会」。同協議会副会長の岡井英夫さんによると「イベントの計画から会場整備，当日の運営まですべて自分たちの仕事。大変ですが大勢集まってくれますし，いろんな企業や団体にも協力してもらえるようになってきました」と手応えを感じるそうです。

草津みなと鱧海道祭り

一方，長年の懸案事項となっているのが，3地区（伏見西部第三，四，五地区）の区画整理事業の推進です。特に平成元年から事業が始まった伏見西部第四地区は，京都守口線の東側の道路整備は進んでいますが，西側はまだ道半ばの状況です。児童の安心・安全確保に向けた小学校の移転計画とも連動しているため，早期実現を目標に各種施策のPRにも注力。「住んで良かったと思われる郷土愛を感じていただけるようにしたい」。地域住民や事業主のさらなる理解を得て，推進を図っていきます。

同協議会副会長
岡井英夫さん

伏見　文化や歴史などの地域資源を活用したまちづくりを推進

伏見桃山がんばる七商店街

伏見桃山・中書島地域の7つの商店街が連携し，「伏見桃山がんばる七商店街」を組織しています。これまで，夏祭りやアートフェスティバルなどを合同で実施し，商店街の集客力の向上とにぎわいの創出による地域商業の活性化に取り組んでいます。

竜馬通り商店街のシャッターアート
「幕末維新回廊」

地域と連携した観光振興

大学，地元商店街，行政が一体となり，多くの観光資源のある伏見南部地域（旧伏見市）まで，公共交通機関を利用した観光客の誘客を目指し，地場産業である「酒」をテーマにした観光マップ「半日散歩」を作成するなど，観光振興に取り組んでいます。

観光マップ「半日散歩」

伏水がつなぐ酒蔵のあるまちづくり提言

桃山丘陵からの良質な地下水に恵まれ，かつては「伏水」とも呼ばれた伏見。伏流水が育んだ伝統文化を未来につなげていくため，オール伏見の酒づくりや地域の食文化資源を活用したイベントを通じて伏見の酒蔵周辺地域の魅力を発信します。

南区　南区企業の“知”活用促進事業

数多くの企業の本社や研究所，工場が集積する南区において，企業と区民との交流促進を図るために平成23年度から実施しています。区内の企業の本社や工場を訪問して企業が有する独自の技術などに触れることで，区民と企業の交流，地域との共生を図るとともに，持続的な企業活動の支援を図ります。

区民の企業訪問

らくなん進都　らくなん進都のまちづくり

らくなん進都（高度集積地区）とは

市南部を南北に貫く幹線道路（油小路通）沿道を中心とした面積約607haの地区です。新しい京都を発信するものづくり拠点を目指して，南部創造のまちづくりの先導地区として，様々な取組が進められています。

らくなん進都整備推進協議会とは

住民・企業・経済団体・行政機関などを構成員として平成12年に設立。美化活動や地域イベントを通じて「らくなん進都」をPRしています。幹事である下鳥羽自治連合会の村瀬副会長は「世界的な企業から老舗企業まで多彩な企業が地域の活動に積極的に協力していただけるのも協議会活動のおかげ」と語ります。会員企業の社員と学生が交流する企業勉強会では，参加した学生から「実際に働いている方と直接話ができて良かった」など好評です。

龍谷大学での企業勉強会

企業誘致の推進

企業用地の確保

- 企業用地の確保のため，らくなん進都内の土地を製造業等の本社・工場等に提供された場合に奨励金を交付しています。
- らくなん進都及び周辺の事業用地をお探しの方に「京都南部企業立地情報ネットワーク」により物件情報を提供しています。

都市計画手法の活用

- らくなん進都鴨川以北産業集積地区建築条例により工場，研究施設等への容積率を割り増しました。

久我　久我の杜　羽束師　ビジョンに基づいたまちづくり

広大な農地など緑豊かな環境に恵まれる一方，住宅開発に伴う様々な課題を解決するため，「久我・久我の杜・羽束師地域の総合的なまちづくりビジョン」を策定。「久我・久我の杜・羽束師地域まちづくり協議会」を中心に，公共交通優先に向けたモビリティ・マネジメントに取り組み，市バス増便につなげるなど，多世代が住む緑豊かな誰もが好きになれるまちづくりを進めています。

緑豊かな地域